

産業環境委員会報告資料

令和4年8月19日

報告事項件名	頁
(1) 環境基金審査会の審査結果について	2
(2) 脱炭素ロードマップの策定スケジュールおよび取組内容について . . .	4
(3) 環境学習施設用地における桑袋浄化施設撤去工事について	6
(4) 「粗大ごみ受付業務および関連システム運用・保守業務委託」公募型プロポーザルの実施結果について	7
(5) 持続可能な清掃事業体制の検討（経費比較）について	10

(環境部)

産業環境委員会報告資料

令和4年8月19日

件名	環境基金審査会の審査結果について																								
所管部課名	環境部環境政策課																								
内容	<p>令和4年度第二期環境基金助成の審査結果について、以下のとおり報告する。</p> <p>1 募集と採択</p> <p>(1) 募集期間 令和4年4月25日（月）から6月10日（金）まで</p> <p>(2) 応募・採択件数</p> <table border="1" data-bbox="472 770 1331 978"> <thead> <tr> <th>部門</th> <th>応募</th> <th>採択</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般</td> <td>3件</td> <td>3件</td> </tr> <tr> <td>ファーストステップ</td> <td>3件</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>6件</td> <td>4件</td> </tr> </tbody> </table> <p>【一般助成】（助成上限1,000万円）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 区が設定する課題に対応する活動や先進的な技術開発、研究等が対象 ・ 環境基金審査会でのプレゼンテーション審査 <p>【ファーストステップ助成】（助成上限20万円）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新たに開始する環境活動や既存の取り組みの拡充等が対象 ・ 書類審査のみ <p>2 環境基金審査会</p> <p>(1) 開催日 令和4年7月20日（水） 午前9時から12時まで</p> <p>(2) 審査委員の構成（9名中8名出席）</p> <table border="1" data-bbox="434 1529 1465 1930"> <thead> <tr> <th>委員区分</th> <th>役職等</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学識経験者</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 千葉大学大学院社会科学研究院 教授 ・ 国立環境研究所地球環境研究センター 主任研究員 ・ 東京農業大学地域環境科学部地域創成科学科 准教授 </td> <td>各1名</td> </tr> <tr> <td>区議会推薦委員</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 区議会議員 </td> <td>3名</td> </tr> <tr> <td>区民委員</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公募により決定した区民委員 </td> <td>3名</td> </tr> </tbody> </table>	部門	応募	採択	一般	3件	3件	ファーストステップ	3件	1件	計	6件	4件	委員区分	役職等	人数	学識経験者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 千葉大学大学院社会科学研究院 教授 ・ 国立環境研究所地球環境研究センター 主任研究員 ・ 東京農業大学地域環境科学部地域創成科学科 准教授 	各1名	区議会推薦委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 区議会議員 	3名	区民委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公募により決定した区民委員 	3名
部門	応募	採択																							
一般	3件	3件																							
ファーストステップ	3件	1件																							
計	6件	4件																							
委員区分	役職等	人数																							
学識経験者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 千葉大学大学院社会科学研究院 教授 ・ 国立環境研究所地球環境研究センター 主任研究員 ・ 東京農業大学地域環境科学部地域創成科学科 准教授 	各1名																							
区議会推薦委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 区議会議員 	3名																							
区民委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公募により決定した区民委員 	3名																							

3 採択された活動

(1) 一般助成

申請者が環境基金審査会に出席し審査を受ける活動

申請者	活動の概要	交付決定額
東京電機大学	<ul style="list-style-type: none"> VR技術による都市部での冠水状況体験システムの改良。 区民参加によるVR実証実験を実施し、防災意識の啓発にもつなげる。 	100万円
東京電機大学	<ul style="list-style-type: none"> 国内の余剰有機資源である竹を減圧マイクロ波処理により「食」に活用。 竹食物繊維（BF-1）を小麦粉と混合し、区内食品製造会社においてパンや菓子を製造する。 	500万円
Adachi Plastic Upcycle	<ul style="list-style-type: none"> シュレッダーや射出成型機等再生プラスチック機器を製造し、収集したプラスチックごみから植木鉢などを制作、販売する。 子ども向けワークショップの実施。 	126万1千円

(2) ファーストステップ助成

書類のみで審査される新たな活動のきっかけづくり等の活動

申請者	活動の概要	交付決定額
NPO 法人東京のCO2削減で都内観光を推進する会	<ul style="list-style-type: none"> 区内商業施設や商店街にてエコグッズの紹介や配布による啓発。 区内施設にてCO2削減講習会を実施。 	19万円

問題点
今後の方針

- 活動終了後、実績報告書を審査のうえ、交付決定額の範囲内で活動に要した金額を助成する。
- 活動を区民や事業者等に広く周知することで、環境や地球温暖化対策への意識啓発につなげていく。

産業環境委員会報告資料

令和4年8月19日

件名	脱炭素ロードマップの策定スケジュールおよび取組内容について																								
所管部課名	環境部環境政策課																								
内容	<p>現在、策定に向け検討を進めている2050年二酸化炭素（以下、CO₂という。）排出実質ゼロに向けた実行計画である脱炭素ロードマップにおける、策定スケジュールおよび取組内容について報告する。</p> <p>1 策定スケジュール 令和5年4月策定（予定）</p> <table border="1" data-bbox="400 739 1445 1043"> <thead> <tr> <th>9月</th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> <th>4月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>環境審議会 諮問</td> <td></td> <td>環境審議会 答申</td> <td>内容検討</td> <td></td> <td>環境審議会 答申</td> <td></td> <td>★ 完成</td> </tr> <tr> <td colspan="6">→</td> <td>パブリック コメント実施 →</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>2 脱炭素ロードマップの環境基本計画とのつながり</p> <div data-bbox="443 1133 1437 1832" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p style="text-align: center;">第三次足立区環境基本計画改定版</p> <p style="text-align: center;">2050年CO₂排出実質ゼロ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: 80%;"> <p style="text-align: center;">2030年度CO₂削減目標 46%以上削減、さらに50%の高みを目指す。</p> </div> <p style="text-align: center;">【削減目標と施策】地球温暖化対策実行計画 (地方公共団体実行計画) 基本計画に包含</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 45%; text-align: center;"> <p>区域施策編 (区全体)</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 45%; text-align: center;"> <p>事務事業編 (公共施設等区の事務事業)</p> </div> </div> <div style="border: 3px double black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%; text-align: center;"> <p>【具体策と工程】脱炭素ロードマップ CO₂削減への道のりを「見える化」</p> </div> </div> <p>地方公共団体実行計画</p> <p>地方公共団体における脱炭素化の取組を加速化させるため、「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づき、地方公共団体が定めるものとされており、足立区では、環境基本計画に包含し策定している。</p>	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	環境審議会 諮問		環境審議会 答申	内容検討		環境審議会 答申		★ 完成	→						パブリック コメント実施 →	
9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月																		
環境審議会 諮問		環境審議会 答申	内容検討		環境審議会 答申		★ 完成																		
→						パブリック コメント実施 →																			

事務事業編 地方公共団体が実施する事務・事業に関し、温室効果ガス排出量の削減等に取り組むための計画。策定が義務付けられている。

区域施策編 区域の自然的社会的条件に応じて、温室効果ガスの排出抑制等を行うための施策に関する計画。策定に努めることが求められる。

3 検討中の主な取組

区域施策編	事務事業編
<ul style="list-style-type: none"> 企業連携による脱炭素に向けた取組 省エネ機器導入費助成 再生可能エネルギー100%電力の導入支援 事業者向け省エネ診断・研修会 自治体間連携による再生可能エネルギー導入支援 廃棄物削減誘導策 CO₂排出実質ゼロ啓発事業 	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設のZEB化 公用車の電気自動車移行 公共施設への電気自動車用急速充電設備の設置 再生可能エネルギー100%電力の導入 プラスチック製品の使用削減 公共施設の給水スポット設置 避難所となる施設のレジリエンス強化

4 具体策の検討方法について

- エネルギー関連事業者との協議、連携による省エネルギー策や再生可能エネルギー活用促進策を検討する。
- 取組の主体となる区民や区内事業者等団体から意見を聴取し、行動変容につながる意識啓発策等に反映させる。
- 環境審議会に諮問し、委員それぞれの視点からの意見と丁寧な審議により、各施策の実効性を検討し、特に行動変容につながる施策を充実させる。

問題点
今後の方針

- 事業者や各種団体と連携し、2030年度目標実現に向けCO₂削減策の検討を進め、実施可能な施策については、計画策定と並行して取組を進める。
- 事務事業編では、施設や公用車を中心に、庁内におけるCO₂排出削減の方針を示し、関係所管との連携により具体策を検討する。

産業環境委員会報告資料

令和4年8月19日

件名	環境学習施設用地における桑袋浄化施設撤去工事について								
所管部課名	環境部環境政策課、道路公園整備室パークイノベーション推進課								
内容	<p>令和4年3月に江戸川河川事務所の使用期間を延長した環境部用地において、江戸川河川事務所から桑袋浄化施設撤去工事の概要が示されたので、以下の通り報告する。</p> <p>1 工事概要</p> <p>(1) 場所 花畑八丁目2番先</p> <p>(2) 工期 令和4年3月28日～令和5年9月25日 作業時間 午前8時～午後6時 ※ 土日祝日は除く</p> <p>(3) 施工会社 東亜道路工業株式会社</p> <p>(4) 工事内容 桑袋浄化施設の撤去・埋戻し</p> <div data-bbox="391 1052 1396 1624"> <p>The map shows the location of the mulch bag purification facility (桑袋浄化施設) in green, the planned route for construction vehicles (工事車両搬出入経路) in blue, and the road closure area (通行止) in red. The facility is located near the intersection of Hanabatachi 8-chome and the Sagami River (綾瀬川).</p> </div> <p>2 今後の予定</p> <table border="1" data-bbox="432 1675 1380 1899"> <thead> <tr> <th>年月</th> <th>予定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和4年8月～</td> <td>地元周知、準備工（仮囲い設置等）</td> </tr> <tr> <td>令和4年9月～</td> <td>浄化施設撤去工事着手</td> </tr> <tr> <td>令和5年9月</td> <td>工事完了</td> </tr> </tbody> </table>	年月	予定	令和4年8月～	地元周知、準備工（仮囲い設置等）	令和4年9月～	浄化施設撤去工事着手	令和5年9月	工事完了
年月	予定								
令和4年8月～	地元周知、準備工（仮囲い設置等）								
令和4年9月～	浄化施設撤去工事着手								
令和5年9月	工事完了								
問題点 今後の方針	引き続き、国、施工業者と情報共有をし、撤去工事の進捗を適宜確認する。								

産業環境委員会報告資料

令和4年8月19日

件名	「粗大ごみ受付業務および関連システム運用・保守業務委託」公募型プロポーザルの実施結果について												
所管部課名	環境部足立清掃事務所												
内容	<p>公募型プロポーザルの実施結果について、以下のとおり報告する。</p> <p>1 業務名 粗大ごみ受付業務および関連システム運用・保守業務委託</p> <p>2 業務内容 (1) 粗大ごみ受付業務、受付システム運用および保守業務 (2) 集積所管理システム運用および保守業務 (3) 集団回収システム運用および保守業務</p> <p>3 被特定事業者 株式会社NTTネクシア (北海道札幌市中央区南22条西六丁目2番20号)</p> <p>4 提案金額 (1) システム構築および導入準備作業委託経費 99,265,100円(消費税込み) ※ 提案限度額 103,406,000円(消費税込み) (2) システム運用保守経費 105,666,990円(消費税込み) ※ 提案限度額 105,667,000円(消費税込み)</p> <p>5 評価経過・審査結果等 (1) 選定委員会の委員構成(7名)</p> <table border="1" data-bbox="453 1626 1426 2029"> <thead> <tr> <th>委員区分</th> <th>役職・所属</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学識経験者</td> <td>・ 東京電機大学未来科学部 教授 ・ 放送大学オンライン教育センター長</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>区民</td> <td>・ 足立区町会・自治会連合会役員 ・ 足立区女性団体連合会役員</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>区職員</td> <td>・ 副区長 ・ ICT戦略推進担当課長 ・ 衛生管理課長</td> <td>3名</td> </tr> </tbody> </table>	委員区分	役職・所属	人数	学識経験者	・ 東京電機大学未来科学部 教授 ・ 放送大学オンライン教育センター長	2名	区民	・ 足立区町会・自治会連合会役員 ・ 足立区女性団体連合会役員	2名	区職員	・ 副区長 ・ ICT戦略推進担当課長 ・ 衛生管理課長	3名
委員区分	役職・所属	人数											
学識経験者	・ 東京電機大学未来科学部 教授 ・ 放送大学オンライン教育センター長	2名											
区民	・ 足立区町会・自治会連合会役員 ・ 足立区女性団体連合会役員	2名											
区職員	・ 副区長 ・ ICT戦略推進担当課長 ・ 衛生管理課長	3名											

(2) 選定委員会の開催経過

回	開催日	審議内容
第1回	4月15日(金)	募集要件等の決定
第2回	6月2日(木)	参加表明書、財務診断結果による提案書提出者の選定
第3回	7月7日(木)	提案書、プレゼンテーションによる事業者の選定

(3) 評価経過

参加表明	一次評価	辞退	二次評価	特定
3者	2者	1者	1者	1者

(4) 審査結果(700点満点、詳細は別紙のとおり)

提案事業者	得点	得点率
株式会社NTTネクシア	561点	80.1%
他事業者	辞退	

(5) 被特定事業者が評価された点

- ・ 粗大ごみ受付システム等の視認性や操作性
- ・ 業務体制及び設備運用保守等の運営体制
- ・ 入退室管理体制や人的・技術的情報セキュリティ対策

6 履行期間

令和6年3月31日まで

- ※ 業務の実施評価が良好な場合に限り、次年度以降4回を限度に1年単位で更新できる。

7 今後のスケジュール

令和4年7月中旬以降 契約後、システム再構築業務を開始
令和5年4月 新規システム稼働

問題点
今後の方針

粗大ごみのインターネットによる申し込み等、区民にとって利用しやすいシステムを構築していく。

NO.	評価項目	評価の視点	指標	配点		業者名	
				配分 (1人あたり)	配分 (7人計)	第一順位	第二順位
						得点	得点
1	業務の理解度	業務の理解度は十分か	提案書の記載内容	10	70	53	—
2	提案内容の 的確性	準備作業の実施工程は妥当か	システム準備作業実施フローの妥当性 受付センター準備作業実施フローの妥当性	5	35	33	—
3		利用者が扱いやすいシステムか	各種システム機能（粗大ごみ受付システム機能概要、携帯用タブレット端末機能概要、集積所管理システム機能概要）	35	245	175	—
4		組織や設備運営保守の運営体制は妥当か	業務体制および設備運用保守・人員体制	10	70	69	—
5		想定入電数からのオペレーター、スーパーバイザー、マネージャー等の配置数は妥当か	受付体制（オペレーター席数、通信回線数） 教育研修計画の有無	10	70	59	—
6		繁忙期等に入電が急に増加した場合の対応方法・体制が確保されているか	入電数が増えた場合の対応策、予防策、応答率実績	10	70	58	—
7		コスト	コストは妥当か	提案見積価格	5	35	19
8	危機管理	災害発生時や機器故障時、システム障害発生時の対策は妥当か	災害発生時およびシステム障害発生時の対応フローの妥当性	5	35	27	—
9	情報セキュリティ	情報セキュリティ対策は十分か	施設の入退室管理体制、人的セキュリティ対策、技術的セキュリティ対策、データセンターの設置場所とセキュリティレベル	5	35	34	—
10	説得力・意欲	提案事業者の説得力、意欲、熱意、理解、協調性があるか	提案書とプレゼンテーションとの整合性 意欲、熱意、コミュニケーション能力	5	35	34	—
小 計				100	700	561	—
区内に本店があり対象業務区域が区内である場合				5	35	0	0
区内に本店があり対象業務区域が区外である場合				4	28	0	0
区内に支店があり対象業務区域が区内である場合				3	21	0	0
区内に支店があり対象業務区域が区外である場合				2	14	0	0
合 計						561 (得点率 80.1%)	—

※ 提案書提出者の選定結果公表後、1者より辞退の申し出があったため、提案書提出者は1者となった。

産業環境委員会報告資料

令和4年8月19日

件名	持続可能な清掃事業体制の検討（経費比較）について																
所管部課名	環境部足立清掃事務所																
内容	<p>持続可能な清掃事業体制に向けて、現業職員の採用も含めた検討を行っている。この中で、「直営による収集」と「委託による収集」の経費比較を行ったので、以下のとおり報告する。</p> <p>1 1日あたりの収集経費比較</p> <p>燃やすごみの収集は、清掃車両（小型プレス車・2t）に運転手1名及び作業員2名が乗車して作業している。この場合の経費を比較した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">比較項目</th> <th colspan="2">1日あたりの経費</th> </tr> <tr> <th>直営による収集</th> <th>委託による収集</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>作業員 (2名)</td> <td>(収集職員) 40歳を想定 25,492円×2名 = 50,984円</td> <td>(雇上作業員) 38,714円 ※ 作業員2名付車両の経費</td> </tr> <tr> <td>運転手 (1名)</td> <td>(運転職員) 29,523円</td> <td rowspan="2">(雇上運転手・車両) 51,194円</td> </tr> <tr> <td>車両 (1台)</td> <td>(リース契約車両) 9,177円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>89,684円</td> <td>89,908円</td> </tr> </tbody> </table> <p>《 清掃車両1台（組）のイメージ 》</p>	比較項目	1日あたりの経費		直営による収集	委託による収集	作業員 (2名)	(収集職員) 40歳を想定 25,492円×2名 = 50,984円	(雇上作業員) 38,714円 ※ 作業員2名付車両の経費	運転手 (1名)	(運転職員) 29,523円	(雇上運転手・車両) 51,194円	車両 (1台)	(リース契約車両) 9,177円	計	89,684円	89,908円
比較項目	1日あたりの経費																
	直営による収集	委託による収集															
作業員 (2名)	(収集職員) 40歳を想定 25,492円×2名 = 50,984円	(雇上作業員) 38,714円 ※ 作業員2名付車両の経費															
運転手 (1名)	(運転職員) 29,523円	(雇上運転手・車両) 51,194円															
車両 (1台)	(リース契約車両) 9,177円																
計	89,684円	89,908円															
問題点 今後の方針	改定後の定員管理指針に基づき、持続可能な清掃事業に向けた職員体制を毎年度精査し、必要数を見極めたうえで採用を行っていく。																